

第1 令和2年度事業総括

小動物、産業動物、公衆衛生等各分野で働く本会会員が、自らの倫理の高揚と実践・普及及び獣医師の人材育成に努めることにより、動物に関する保健衛生の向上、動物愛護精神の涵養、安全安心な畜産食品の生産振興、人の公衆衛生の向上及び社会福祉の増進などを図って地域社会への貢献を目指して活動した。

具体的な方策として、以下の活動を実施したが、令和元年度末から続いている新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、事業の実施は大きく制限を受けた。

1 獣医学術及び技術の振興・普及及び獣医師人材育成に関する事業

新たな獣医学術及び保健衛生の向上を図るため、獣医療や獣医学教育の推進を目的とした学会、研修会、講習会等を開催し、最新の獣医療の情報共有と人材育成を行うことが趣旨であるが、県学会、研修会、講習会等は新型コロナウイルス感染症の影響によりほとんど開催できず、また、獣医学術中国地区学会、日本獣医師会獣医学術学会年次大会も中止となった。

それに対して、日本獣医師会学術学会年次大会の代替企画である各種のオンラインセミナーを会員に広報するとともに、第4回日本胚移植技術研究大会鳥取大会への協賛、オンラインセミナーやWeb配信の各種セミナー、シンポジウム等（ワンヘルス国際フォーラム2021、日本獣医麻酔外科学会学術集会、日本医師会との連携シンポ、世界狂犬病デー2020ウェブセミナー等）を会員に会報、ホームページ等を通じて広報、案内を行った。

2 人と動物が共生できる社会環境づくりに関する事業

人獣共通感染症である狂犬病の予防等のため、予防注射の推進等適切な指導を推進するとともに、SFIS等の発生状況を飼い主に情報提供、指導をすることで、動物に関する保健衛生及び人の公衆衛生の向上を図ることにより、人と動物が共生できる社会環境作りに取り組むための事業を実施した。

また、公益社団法人鳥取県畜産推進機構と連携協調し、指定獣医師による予防注射業務の円滑な推進に協力及び公益財団法人動物臨床医学研究所との連携により愛護動物の福祉・環境改善の高揚などを図った。

3 飼養動物等に関する知識・技術の普及啓発及び猫の不妊・去勢手術等の助成に関する事業

飼養動物等（愛玩動物、家畜、野生動物等）の習性や飼養管理、病気等に関する情報を提供するとともに、不妊・去勢手術の必要性の啓発活動を実施した。さらに、県事業を活用し猫の不妊・去勢手術を助成し、もって動物愛護精神の高揚を図り、人と動物が共生する地域社会の発展を図るための事業を実施した。

さらに、動物の愛護及び管理に関する法律に基づく所有明示措置を推進するため、マイクロチップの装着の普及を図った。

4 獣医事の推進

中国地区の各獣医師会と連携し、①「動物の愛護及び管理に関する法律」における獣医師の位置づけの改正、②獣医師養成確保修学資金貸与事業の広範活用、③「獣医療法」の適正化のための監視指導に関する指針の見直し、④マイクロチップ装着の義務化に向けた早期検討について、日本獣医師会を通じて国に継続要望した。

また、地元鳥取大学農学部共同獣医学科を優秀な成績で卒業する学生を表彰するなど各種の活動を行った。

5 広報活動事業

(1) 日本獣医師会雑誌を正会員に配布し、獣医学術及び会員情報等を伝達した。

(2) 鳥取県獣医師会会報を毎月発行（第543号～第554号）、全会員に配布し、本会業務の伝達、各種情報の提供を行った。

(3) ホームページを充実し広く本会のPRに努めるとともに、会員コーナーで情報提供に努めた。

第2 事務概況

1. 行事

(1) 監査会

R 2. 4. 21 令和元年度事業監査会（於 本会事務所）
令和元年度における会計及び業務監査

(2) 総会

2. 6. 14 第68回定時総会（於 鳥取市：とりぎん文化会館）
令和元年度事業報告、収支決算

(3) 理事会

2. 5. 14 第188回理事会（於 倉吉市：倉吉シティホテル）
第68回定期総会招集
第68回定時総会提出議案、功労者表彰、新型コロナ対策本部について

2. 7. 30 決議 第189回理事会（書面決議）
日本獣医師会会長・中国地区連合会長表彰の表彰者の推薦

2. 9. 10 第190回理事会（於 湯梨浜町：水明荘）
各規則・規程の改正、制定
新型コロナの影響により不執行となった経費の活用
オンライン会議の検討、幹旋事業の整理、全国地方獣医師会照会結果

2. 12. 9 第191回理事会（於 湯梨浜町：水明荘）
賛助会員の入会、専務理事の退任、会費未納者の取扱いについて

3. 3. 4 第192回理事会（於 倉吉市：倉吉体育文化会館）
各規程一部改正、特別会員の承認、未収会費の債権放棄、
令和2年度補正予算案、令和3年度事業計画案及び予算案、会費の賦課
納入、一時借入金限度額及び取引金融機関、役員選任の日程、
幹旋事業を行う任意団体の設立

(5) 小動物・狂犬病委員合同会議

2. 12. 17 小動物臨床部会委員・狂犬病委員合同会議（於 湯梨浜町：水明荘）
専門部会委員会規程等の見直し、災害時の動物救護協定・連絡体制、新
型コロナ感染者が飼養するペットの一時預り、幹旋事業を行う任意団体
の設立

(6) 自衛防疫委員会研修会

2. 12. 17 豚熱ワクチンに係る研修会（於 倉吉市：倉吉体育文化会館）
全国で感染拡大している豚熱及びワクチンに関する関係者及び産業動
物獣医師向け研修会

(7) 鳥取県農業共済組合関係

3. 3. 10 於 鳥取市：損害評価会家畜共済部会

(8) 日本獣医師会関係

2. 6月（書面決議） 日本獣医師会第77回通常総会
2. 7～8月（書面開催） 全国獣医師会事務・事業推進会議
2. 10月（書面開催） 全国獣医師会会長会議
（2020動物感謝デーは開催中止）

(9) 中国地区獣医師会連合会関係

2. 4. 9 於 松江市：令和2年度定期総会

2. 9. 8 (書面議決)：第1回中国地区獣医師会連合会臨時総会

2. 10. 5 (書面議決)：中国地区獣医師会連合会会長会議・事務局会議
(開催中止)

令和2年度中国地区獣医師会連合会幹事会

令和2年度獣医学術中国地区学会

令和2年度中国地区開業部会連絡協議会定期会議

令和2年度中国地区小動物・公衆衛生・産業動物各講習会

(10) その他

県くらしの安心局くらしの安心推進課、県農業振興戦略監畜産課、鳥取県農業共済組合、(公社)鳥取県畜産推進機構、(公財)鳥取県食鳥肉衛生協会、鳥取県公衆衛生協会、鳥取県食中毒防止対策協議会等、関係機関との連携を図り、会議、打合せ等が開催される場合にできるだけ参画した。

2. 会員の動向

(1) 顧問 福田 豊 氏、山根 義久 氏

(2) 正会員 263名

支部	R2年度初 現在数	支 部 間 異 動		入 会	退 会	R2年度末 現在数
		入	出			
東 部	97	中村 歩 林原 健吉 井上 真寛 木山 真大 天野 弥咲 小林 朋子 岸田 尚子 柄 裕子	森原 秀雄 錫木 淳 岸田 祐 高木 翔矢 湯口 俊之	原田妃南子 日高第五郎	上原 正人 岡野 二郎 天野 竜馬 細井 亨 福井 清二 東 和生 福澤 大輔 (特別会員へ) 宮石 憲士 上田 昭夫 太田垣公利 石黒 仁志	91
中 部	94	上田 豊 森川 伸昭 錫木 淳 岩尾 健 生田 泰子 岸田 裕 小林 努 高木 翔也	中村 歩 梁川 直宏 井上 真寛 天野 弥咲 小林 朋子 岸田 尚子 柄 裕子	天野 弥咲 大平 憲二 大平祐佳里 安藤 湧希 三井 香保 河本 悟	渡部 剛史 奥村 敏広 朱 夏希 田中 啓季 萩野 詩季 増田 康充 (特別会員へ) 吉田章三郎 本田達之助 石川 啓作 齋尾 秀隆	91
西 部	93	梁川 直宏 森原 秀雄 湯口 俊之	上田 豊 林原 健吉 森川 伸昭 木山 真大 岩尾 健 生田 泰子 小林 努	濱川 菜緒 石田 大武 稲垣 文弥	小西 翔 藤倉 直人 田形 弘 河合 紀人 野々内繁男 (特別会員へ) 角田 幹 清間 通 遠藤 喜久 小谷 光男 山中 哲雄 伊澤 史隆	81
	284	19	19	11	32	263

※支部間の異動は、令和3年4月1日付け人事異動も反映する。

(3) 特別会員

終身会員

(28名)

白間 実、安田 公正、那須 和四郎、福井 忠義、木嶋 朗博、山根 礼吉、
三田 早苗、長谷川 重美、生田 常雄、金田 耕治、前場 武弘、岸本 靖、
山根 徳久、田村 知央、田村 儀一、竹本 巖、宮石 憲士、上田 昭夫、
太田垣 公利、本田 達之助、河本 修治、石川 啓作、中森 悦夫、角田 幹、
太田 勝己、清間 通、遠藤 喜久、小谷 光男、

名誉会員

(6名)

岸本 務、福田 眞章、石黒 仁志、齋尾 秀隆、山中 哲雄、伊澤 史隆

(4) 賛助会員

(公社)鳥取県畜産推進機構、鳥取県農業共済組合、大山乳業農業協同組合、
米久おいしい鶏(株)、(公財)鳥取県食鳥肉衛生協会、
(MPアグロ株式会社、株式会社アスコ：会費は令和3年度から)

(5) 会員逝去

長尾 利彦(終身会員)、野々内 繁男

第3 事業概況

1. 学術振興

(1) 学会

- 第54回鳥取県獣医学会（開催中止）
- 令和2年度獣医学術中国地区学会（開催中止）
- 第41回動物臨床医学会年次大会（開催中止）
- 令和2年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（開催中止）
(代替企画オンラインセミナー：ホームページ、会報、メールにより情報提供)
 - 3. 2. 20 日本医師会・日本獣医師会・厚生労働省による連携シンポジウム
「with コロナ下におけるペットとの付き合い方
—正しく知ろう、動物と人のコロナウイルス感染症—」
 - 3. 2. 27 日本産業動物獣医学会オンラインセミナー
「我が国におけるCSF（豚熱）対策の現状と問題点」
 - 3. 3. 6 野生動物救護対策オンラインセミナー
 - 3. 3. 14 日本小動物獣医学会オンラインセミナー
「犬猫における消化器の超音波検査」「犬猫における消化器のX線検査」
 - 3. 3. 20 日本獣医公衆衛生学会企画オンラインセミナー
「新型コロナウイルス感染症流行下における獣医公衆衛生の役割」
教育講演「我が国の結核の現状」
 - 3. 4. 3 改正法令オンラインセミナー
「愛玩動物看護師法／動物愛護管理法」

(2) 講習会・研修会

- 自衛防疫委員会研修会
 - 2. 12. 17 於 倉吉市：倉吉体育文化会館
「豚熱ワクチンに係る研修会」
講習内容：豚熱ワクチンについて
講師：共立製薬株式会社岡山営業所 安原 健 先生
講習内容：豚熱経口ワクチン散布について
講師：鳥取県農林水産部畜産課 課長補佐 前田 佳奈 先生
- 日本胚移植技術研究大会鳥取大会（鳥取県獣医師会協賛）
 - 3. 2. 3～2. 4 Web開催
(鳥取県畜産試験場長が大会長)
内 容：家畜の胚移植技術について国内研究機関が研究発表
- その他情報発信したWebセミナー、オンラインセミナー、学会、シンポジウム等
 - ・ 2. 8. 9 福岡県獣医師会小動物部会主催オンラインセミナー
テーマ「動物のSFTSの臨床像と対応」
 - ・ 2. 10. 4 世界狂犬病デー2020ウェブセミナー
 - ・ 2. 12. 3 第12回日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム
テーマ「薬剤耐性（AMR）対策アクションプランの成果と展望」
 - ・ 3. 1. 18～1. 24 日本獣医麻酔外科学会オンライン学術集会
 - ・ 3. 1. 30 OneHealth国際フォーラム2021オンライン開催
(福岡県獣医師会主催)
 - ・ 3. 2. 1～2. 14 岡山理科大学獣医学部国際シンポジウムWeb開催
テーマ「アニサキス症」

2. 狂犬病予防注射頭数（R2.3～R3.2） 17,459頭

（ ）は前年同期

地 区	集合注射頭数	個人注射頭数	頭数合計
東 部	661 (1,920)	5,828 (4,759)	6,489 (6,679)
中 部	487 (1,030)	2,725 (2,272)	3,212 (3,302)
西 部	1,362 (1,624)	6,396 (6,166)	7,758 (7,790)
計	2,510 (4,574)	14,949 (13,197)	17,459 (17,771)

3. 動物愛護事業

○ 飼い猫の不妊、去勢手術奨励事業（県事業を活用）

実施頭数：不妊447頭（1頭当たり4,000円助成）（前年度：319頭）

去勢317頭（1頭当たり2,000円助成）（前年度：245頭）

合計764頭（前年度：564頭）

○マイクロチップ装着推進

代行登録頭数： 202頭（前年度：222頭）

○ペット無料相談コーナー（開催無し）

○人と動物の未来センター “アミティエ”への後援

里親募集動物の情報発信に協力

4. 表彰

(1) 第68回 通常総会（令和2.6.14 於 鳥取市）において会長表彰

岡田 綾子氏、尾崎 裕昭氏、中口 真美子氏、小林 朋子氏、小谷 道子氏、

前田 佳奈氏、渡邊 祐治氏、門木 淳子氏

(2) 令和2年度日本獣医師会会長表彰及び中国地区獣医師会連合会会長表彰（式典なし）

日本獣医師会会長表彰

森田 嘉宏 氏

中国地区獣医師会連合会会長表彰

赤井 精 氏、野々内 繁男 氏、土井 博文 氏、田中 一 氏、倉都 隆 氏、

5. 獣医師確保対策

(1) 公務員獣医師確保と処遇改善の取り組み

2.11.12 鳥取県議会議員との意見交換会 於 鳥取市

内 容：超党派議員で構成される「鳥取県の畜産業の発展を考える会」との意見交換会において、「公務員獣医師確保対策の必要性について」意見交換し、対策の実現に向けて応援を依頼（参加県議13名）

(2) 獣医師を目指す高校生セミナー

2. 8. 7 於 鳥取市：とりぎん文化会館

高校生3名、保護者2名の参加（西部会場は中止）

7. 要請活動

(1) 中国地区獣医師会連合会を通じて、(公社)日本獣医師会に次の各号について要請した。

- ①「動物の愛護及び管理に関する法律」における獣医師の位置づけの改正について(継続)
- ②獣医師養成確保修学資金貸与事業の広範活用について(継続)
- ③「獣医療法」第17条(広告の制限)及びその適正化のための監視指導に関する指針(獣医療法広告ガイドライン)の見直しについて(継続)
- ④マイクロチップ装着の義務化に向けた早期検討について(新規)

8. 斡旋事業に係る取り組み

様式類を斡旋頒布する事業を、東部家畜防疫協議会から切り離すことを目的に、新たな任意団体(鳥取県動物防疫協議会)を立ち上げるため、小動物獣医師並びに産業動物獣医師との協議を重ね、設立準備を行った。

9. 奨励

(公社)日本獣医師会、中国地区獣医師会連合会等が主催する行事等についてホームページ、会報、メール等により情報発信し、参加奨励を行なった。

10. 協 賛

鳥取県畜産共進会、日本胚移植技術研究大会鳥取大会

11. 福 祉 事 業

獣医師福祉共済制度の推進
生命共済 医療保障保険 賠償責任保険

12. 慶 弔

慶 事 3件(会員3名) 弔 慰 8件(会員8名)